

# マナーを守ってみんなが 気持ちのよい運転をしよう

歩いているとき、車を運転しているとき、車の運転マナーが悪いと感じたことはありませんか。運転マナーの悪さは常にルール(法令)違反と結びつき、事故につながる危険性も含んでいます。私たち一人ひとりが交通マナーを守る意識を持つことで、信濃町が安全・安心で気持ちのよい町になります。



あなたの運転マナーは大丈夫？

**信** 濃町での交通マナーについて聞いてみると、意外とルールやマナーが悪いと感じている方は多いようです。歩行者や自転車、車のそれぞれが、安全・安心に通行するためには、なんといっても、お互いに思いやりの心を持ち、譲り合う気持ちが必要です。交通マナーは一人ひとりのちょっとした心がけからです。

**運転マナーの基本は  
交通ルールを守ること**

マナーの悪い運転としてよく見られるのが、歩行者が横断歩道にいても停止しない行為、車間距離を詰めて前の車を圧迫する「あおる」行為、方向指示器を出すと同時に強引に割り込む行為などです。これらの行為は、マナーが悪いという以前に、交通ルールに違反する行為です。マナーの良い運転をするためには、まずは、交通ルールを守ることが基本になります。

## マナー、ルール違反の体験談

- ◆横断歩道にいても、車が止まってくれない
- ◆方向指示器を出すのが遅いまたは出さない
- ◆店の駐車場から出るとき、入れてくれない
- ◆交差点で直進しているのに、対向車が無理矢理曲がってきた
- ◆信号が黄色や赤色でも突っ切ってくる
- ◆あおられることがよくある
- ◆携帯電話をしながら運転している



## 運転中の怒りの感情は危険

渋滞で「イライラ」したり、相手の車が強引に割り込んできて、怒りの感情がわき起こったことはありませんか。もし、怒りの感情が高ぶっている状態で車を運転したら、運転が荒くなり、周囲に注意を払うことも難しくなります。運転マナーどころではなく、思わぬ事故を引き起こす可能性があります。

## 感情を「コントロール」するためには

「感情的になっているな」と思ったら、まずゆっくり深呼吸をし、「相手にも何か事情があるのかもしれない」と、そのときの状況を振り返る余裕を持つことで、「イライラ」したり、「ムッ」した感情をコントロール

トロールできるようになり、冷静な運転につながります。

## マナーとは相手への思いやりです

マナーというのは、挨拶、身だしなみのように最低限のものはありますが、それだけ行えば大丈夫というものではありません。相手の状況を考えて、一人ひとりが自分の判断で行うべき行為です。よく言われることですが、「自分がされて嫌なことは他人にもしない」ように心がけましょう。

## 相手への思いやりのある運転とは？

自分優先の意識を抑え、「自分中心」から「相手中心」の運転を心がけ、状況に応じて相手に譲ることが「思いやり運転」です。歩行者や他のドライバーは自分の運転を妨げる邪魔者だと思わず、歩行者が横断歩道にいても停止しなかったり、合流したがついている相手を入れないといった運転になりがちです。

例えば、5分早く出発することで、心に余裕ができて、歩行者に気配りでき、他のドライバーとの譲り合いもできるなど、思いやり運転が生まれます。

一人ひとりが交通ルールを理解し、マナーを向上させることで、信濃町を安全・安心で気持ちのよい町にしましょう。

## ◆運転の基本ルール！

### 1. 横断歩道は歩行者優先

運転手は横断歩道で歩行者を見たら必ず「止まる」ことが義務付けられています。歩行者の通行を妨げはいけません。



### 2. スピード出し過ぎに注意

法定速度だけでなく、その時の状況に応じて、スピードを落としましょう。適切な速度を守ることによって余裕もできます。



### 3. 一時停止は赤信号と同じ

見通しの良い一時停止の交差点では、停止せずに進みがち。でも、一時停止の標識は赤信号と同じ。必ず一時停止をしましょう。



### 4. 一定の車間距離を保持

前方の車が急に停止したときでも、追突するのを避けるために必要な距離を空けなければいけません。「あおる」行為はもってのほか！



### 5. 黄色信号で止まる勇気を

黄色、赤色での突入に注意。黄色になったら加速していませんか？黄色信号は「もうすぐ赤になるから止まる準備をしましょう」という意味です。残された右折車の身にもなりましょう。



みなさん、交通ルールを守りましょう！

信濃町交番 古澤 慶次郎 所長

## 思いやり運転のポイント！

待ってあげる／譲ってあげる／止まってあげる／よけてあげる

## 思いやり運転に「ありがとう」の気持ちを返そう！

会釈／手でお礼